

南三陸高等学校

校訓 真・和・敬



1 基本データ

創立：大正13年（創立100年）
課程・学科：全日制課程・普通科、情報ビジネス科
生徒数：149名
所在地：〒986-0775
宮城県本吉郡南三陸町志津川字廻館92番2
TEL：0226-46-3643
FAX：0226-46-3648

ホームページアドレス：
<https://msanriku-hs.myswan.ed.jp/>
電子メールアドレス：
msanriku-hs @ od.myswan.ed.jp @の前後にスペース有
主な交通機関：
JR 気仙沼線 BRT・志津川中央団地駅から徒歩約20分
志津川駅から徒歩約15分。
JR 気仙沼線 BRT・志津川駅から南三陸町乗合バスに乗り（3分）

2 学校の特徴

校 是

志高 志を高く

令和5年4月の校名変更に伴い、在校生及び卒業生から「長年親しまれてきた『志高』という名称を残してほしい」という声が多く寄せられ、志高を校是として残し、次の100年に向けて志を高く持ち、何事にも果敢にチャレンジしていく決意を表しています。

(1) 学校の概要(沿革、環境、施設等)

令和6年度に創立100年を迎えた本校は、大正13（1924）年に町立志津川実科高等女学校として創立し、戦時中の志津川高等女学校を経て、戦後の学制改革で県立男女共学の宮城県志津川高等学校となりました。平成8（1996）年に学科改編を行い、商業科を情報ビジネス科に改編し、普通科も類型選択制を取り入れました。平成15（2003）年から、本校と南三陸町内の中学校との県内初の地域連携型中高一貫教育がスタートしました。「南三陸町地域連携型中高一貫教育」では、中学校・高等学校の6年間の中で、系統的・総合的に教育を行うことにより、地域・社会で生きて働く、「知識・技能（技術）」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力・人間性等」を培い、「地域を愛し、未来を見据え、地域社会を切り拓く生徒」の育成を目指しています。平成29（2017）年から、公営塾である「志翔学舎」が本校内に設立され、本校の生徒であれば誰でも無料で利用することができ生徒の進路達成に向けてサポートが充実しています。

令和5（2023）年から県内初の全国募集選抜が行われ、初年度は県外から5名、今年度は2倍の10名の生徒が入学しました。

令和5年度は、全国募集選抜と同時に校名を町名と同じ、宮城県南三陸高等学校に変更し、全国募集と校名変更に合わせて創立100周年記念式典が開催されました。

本校は、宮城県の北東部に位置した南三陸町にあり、町内の山や海といった自然環境の中で地域と密着した教育活動を行っており、勉強や部活動に取り組む環境が整っています。本校の施設としては、令和4（2022）年に第一体育館の改築が行われ、令和5（2023）年に人工芝のテニスコートが完成しました。他にも第二体育館、弓道場、グラウンド、

2つのコンピュータ教室など充実した設備があります。

(2) 教育方針

知性を磨き真理を探究し、自他を敬愛できる寛容と協和の心を持った、誠実で愛情豊かな人財の育成をめざし、次の目標の達成に努めています。

- ① 中学校における教育の成果を更に発展拡充し、国際社会の有為な形成者として必要資質を養う。
- ② 社会において果たさなければならない使命を自覚し、個性に応じて自らの進路を選択できる高い志と生きる力を養う。
- ③ 社会の変化にも対応できる起業家的資質を持ち、豊かな感性と思いやりの心を持った、情操豊かな人格の形成に努める。

(3) 教育課程の特色

本校では、生徒一人ひとりの進路希望達成を目指し、進路に応じたカリキュラムを設定しています。

普通科 ～フツウを超えた学びへ

1年生は、全員共通科目を学び、2年生よりそれぞれの進路に応じて「地域創造系」「文理系」に分かれて学びます。

【地域創造系】

南三陸町をフィールドに、学校設定科目「地域学」「地域探究学」で町内の事業所と連携した取組を通して、仕事をする上で直面する様々な課題に創造的に解決策を提案・実践する力を身につけます。

目指す進路：大学（地域、行政、観光）、専門学校、公務員、民間企業など

【文理系】

国公立大学、私立大学の一般選抜（共通テスト利用含む）受験に対応したカリキュラムで現役合格を目指します。科目選択により、文系・理系それぞれ目指す進路に合わせた学習が可能です。

目指す進路：国公立大学、私立大学、専門学校（看護系）、公務員など

情報ビジネス科 ～未知から既知へ

「今年よかったから、来年もやってみる？」から「今年よかったから、来年はこうしてみたい」ができる学科です。

公立高校初の「Linux アカデミックパートナー認定校」として、東京のIT企業の方を講師にお招きして国際資格「Linux Essentials」の学習ができます。また、県内に本社のある企業と連携してドローンに関する民間資格の取得もできます。他にも、液晶タブレットやMacBookPro、3Dプリンタ、

AdobeCreativeCloudを使った授業や、町内の事業所と連携したコラボ商品の企画・販売などにも挑戦しています。

目指す進路：大学（情報、経済、経営、商学）、専門学校、公務員、民間企業、など

(4) 行事・生徒会活動・部活動

数ある行事の中でも、本校の初代校長である尾形先生の名に因んだ「尾形杯」というペナントレースのようなイベントがあり、合唱コンクール、旭ヶ浦祭、体育祭の総合得点で優勝クラスが決まります。

生徒会活動は、行事の運営だけでなく、他校との交流や台湾の学校との交流が盛んに行われ、今年度もオンライン、対面交流が行われています。

部活動は、運動部・文化部ともに多彩な部があり、陸上競技部は、毎年東北大会に出場し、令和3年度には、2名インターハイ出場を果たしています。自然科学部も、環境甲子園奨励賞や高校生海洋環境保全研究発表会優秀賞、他にも多数の大会で表彰されています。

(5) 卒業生の進路状況

進路一覧(過去3年間、進学者・就職者数)

進路	R5	R4	R3
大学	11	6	14
短期大学	0	4	3
専各学校	6	21	17
就職(県内)	24	20	31
就職(県外)	4	4	5
その他	0	0	0
卒業生計	45	55	70

主な進路先(令和6年3月卒業生)、

()内は人数 (1)は省略。

<私立大学>

東北学院大学(4)、宮城学院女子大学(2)、仙台北百合女子大学、尚絅学院大学、仙台大学、神奈川大学、文教大学

<専修各種学校>

東北職業能力開発大学校、石巻高等技術専門学校、東京 IT プログラミング&会計専門学校(2)、仙台カフェ&スイーツ専門学校、仙台ブライダル専門学校

<就職>

(株)カネキ吉田商店(2)、介護老人保健施設ハイム・メアーズ(2)、及善商店、旭洋設備工業(株)、行場商店、(一社)南三陸町観光協会、トヨタ東北(2)、(株)登米村田製作所、(2)、三宝化成工業(株)、(株)七十七銀行、グローテック(株)、西濃運輸(株)、等

3 学校魅力発信

(1) 活躍する卒業生

普通科 令和2年度卒 小林汐樹 (山形大学 在学中)

私が高校生活の中で、私が意識していたのは「挑戦してみる」ということです。生徒会長へ立候補したり、英語弁論大会に参加したり、初の海外や郷土芸能、台湾交流、大学進学の実験校のハードルを少し上げたりと、当たり前を過ごす学校生活の中に、「挑戦」する場面をたくさん作ったことで、自分を成長させることができました。



現在も私の「挑戦」は続いています。今、私はアフリカのマラウイという国でボランティア留学を行っております。具体的には、教育支援を行っており、幼稚園や、小学校で先生として活動しています。人道支援に関わりたいという夢を実現させるために、まずは自分で世界をみでみる、そこから自分にできることは何かを見つけていきたいと思っています。毎日が「挑戦」の日々です。言語の壁で、生徒とのコミュニケーションに困ったり、文化の違いで、受け入れがたいことがあったり、自分のコンフォートゾーンから出て挑戦することは、簡単なことではありません。しかし、そんな毎日が、私を成長させてくれていることを知っているので、頑張っています。

中学生の皆さんは、今たくさんの可能性に溢れています。選択肢があり過ぎるくらいかもしれません。そんな皆さんには、たくさん「挑戦」してもらいたいです。挑戦の一步を踏み出すだけで、まず皆さんは絶対成長できます。若いうちに、どのくらい挑戦できたかが、大人になった時、皆さんが花咲くための栄養になってくれます。成功？失敗？そんなもの、ありません、やってみよう！と歩き出した時に、その行動に意味があります。また、挑戦できた人は、何かを頑張ろうと思っている人を応援できる人になります。そんな、これから輝く可能性のある皆さん、南三陸高校で、「挑戦」してみませんか？

情報ビジネス科 平成29年度卒 及川怜央 (南三陸町役場)

高校時代は、あっという間に3年が過ぎた印象です。私が自分の進路について意識し始めたのは中学3年生の頃で、当時から高校卒業後は就職しようと考えていました。そこで、就職するにあたって有利になる「資格取得」ができる南三陸高校情報ビジネス科へ入学しました。



情報ビジネス科では、商業の基礎となる「ビジネス基礎」や「簿記」「情報処理」などの科目を学ぶことができます。普通科のカリキュラムにはないこれらの授業は、社会に欠かせない経済活動や就職前の予備知識として、後々必ず自分のためになります。

高校卒業後は南三陸町役場へ入庁し、平成30年度から令和3年度までの4年間は町民税務課職員として、令和4年度から令和5年度までの2年間は企画課職員として事務に従事してきました。現在、私は町の広報紙「広報南さんりく」の作成やふるさと納税、高校魅力化に関する業務などに従事しています。

中学生の皆さんには、「時間は有限であり、今できることは今しかできない」ということをお伝えしたいです。時間が経過するにつれて、できないことも増えていきます。先の見えない不透明な時代だからこそ、一歩踏み出すことが大切です。ぜひ南三陸高校に入学し、夢を実現してみませんか。

(2) 部活動紹介

運動部

弓道部、剣道部、硬式野球部、女子ソフトテニス部、女子バレーボール部、卓球部、柔道部、男子サッカー部、バスケットボール部、バドミントン部、陸上競技部

文化部・愛好会等

自然科学部、商業部、総合文化部(手芸班・美術班)、音楽部、軽音楽部、郷土芸能愛好会、防災クラブ

(3) 学校制服紹介

令和5(2023)年度入学生より制服のマイナーチェンジが行われました。デザインは紺色のブレザーに、スクールカラーでもあるブルーをシャツとネクタイに取り入れ、2つボタンを採用しました。

夏服は男女ともワイシャツとポロシャツを選んで着用できます。また、女子はスカートとスラックスを選んで着用できます。



(4) 新施設の紹介

令和4(2022)年に完成した新第一体育館



令和5(2023)年に完成した人工芝の新テニスコート



4 生徒会役員からのメッセージ

南三陸高校は、先生方と生徒の距離が近く進路面だけでなくそれ以外の自分のたちのレベルアップに必要な経験や情報を提供してくれず、先生方だけでなく、学習のサポートをしてくれる公営塾「志翔学舎」があり自分に合った場所で学習することができ、学年の垣根を超えて人脈を広げることもできます。そして、地域との関わりも大切にしている、地元企業の協力を得て地域問題を解決する考える力を身につけることができます。他にも、台湾の学校と姉妹校締結しており多文化理解を深め視野を広げることができます。ぜひ入学し、ここで出会った仲間とともに高校生活を謳歌しましょう。

